

Shell Top Loading MO Unit

ユーザーズマニュアル - Mac編 -

目 次

ごあいさつ	4
ご注意	4
製品の特徴.....	5
使用環境について	6
使用可能なメディア	7
設置について	8
接続について	10
メディアのセットと取り出し	12
フォーマットについて	16
Mac OS X 環境の場合	16
Mac OS 9 ~ 9.2.2 環境の場合	17
アクセスランプの仕様について	19
本製品を取り外す手順	20
トラブルシューティング	21
ハードウェア仕様	25
オプション品について	26

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

本製品はUSB 2.0のHigh-Speedに対応したポータブルタイプの外付け型MOユニットです。USB バスパワーによる電源供給が可能ですので、USB ケーブルでパソコンとつなぐだけで使用可能となります。

本製品の特徴

バスパワーに対応し、パソコンのUSBポートより直接電源の供給を受けます。ACアダプタを接続する必要がありませんので、すっきりと収納できます。

480Mbps の高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応し、従来のUSB 1.1対応のUSBポートに接続することも可能ですので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

パソコンのUSBポートにケーブルを差し込むだけの簡単接続で手軽にMOメディアを使用することができます。また、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONになっている状態での着脱)が可能ですので、パソコン間でのデータ交換を容易に行うことができます。

世界標準のISO規格に準拠するMOメディアを使用できます。(使用可能なMOメディアの容量やタイプについては、7ページをご参照ください。)MOメディアの判別は自動判別で行なわれます。

幅 103.3 × 高さ 19.8 × 奥行き 117.5mm の小型サイズで本体重量が約 230g と軽量な上、USB バスパワーで動作しますので、携帯性に優れた狭い場所での設置が可能です。



重要なお注意

- ・ 接続に使用するケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。それ以外のケーブルを使用した場合の動作につきましては保証の範囲外とさせていただきます。
- ・ USB延長ケーブルは使用しないでください。不要な電圧低下を招き、動作が不安定になる可能性があります。
- ・ スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっております。

本製品は以下の条件を満たす環境でご使用になれます。

対応パソコン

USB ポートを搭載した Macintosh マシン

対応 OS

Mac OS X 10.1 以降

Mac OS 9 ~ 9.2.2 まで

制限事項

- ・ すべて USB ポートを標準搭載している機種に限ります。
- ・ USB 2.0 High-Speed (480Mbps : 理論値) での転送を実現するためには、パソコン側のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。
- ・ 基本的にパソコン本体の USB ポートへ直接接続してください。バスパワーの USB ハブでは動作しません。
ただし、パソコン本体の USB ポートのバスパワー電源供給性能によっては別途セルフパワーの USB ハブが必要となる場合があります。
- ・ すべての USB インターフェースでの動作を保証するものではありません。
- ・ USB ケーブルは必ず付属のものをご使用ください。それ以外の USB ケーブルでの動作は保証いたしかねます。

使用可能なメディア

本製品には以下のような機種がラインアップされています。それぞれの機種では、下表で または のついた MO メディアを使用することができます。

機種名		LMO- PBS 1345U2	LMO - PBS645U2
128MB	標準		
	OW		
230MB	標準		
	OW		
540MB	標準		
	OW		
640MB	標準		
	OW		
1.3GB	標準		x
	OW		
2.3GB	標準	x	x
	OW		

- = 使用可能 x = 使用不可
- = 使用可能ですが、書き込み速度は、通常の MO メディアと同等になります。
- = このタイプは現在発売されていません。



ご注意

- ・他の MO ユニットとのデータ交換には、128MB の MO メディアは使用しないでください。(この用途は保証範囲外とさせていただきます。)
これは 128MB の MO ユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB 以上の MO メディアをご使用ください。

本製品は縦置き・横置きどちらでも使用可能です。

横置きで使用する場合

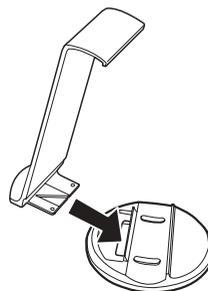
横置きで使用する場合は、右図のようにトップカバーを上にして設置してください。



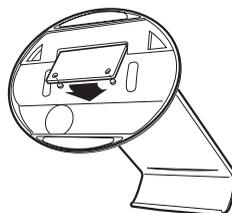
縦置きで使用する場合

縦置きで使用する場合、付属のスタンドを組み立てて以下のように設置してください。

スタンド台座部分の開口部に支柱をはめ込みます。

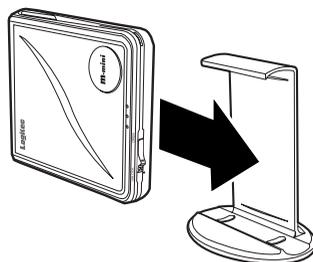


台座裏側の突起部に支柱がしっかりとまるように固定してください。

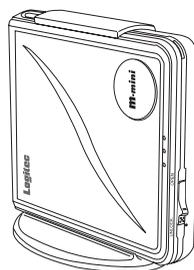


トップカバーが手前にくるようにして本製品をスタンドにセットします。

トップカバーが手前にくればセット方向は逆でもかまいません。



正しくセットされると右のような状態になります。



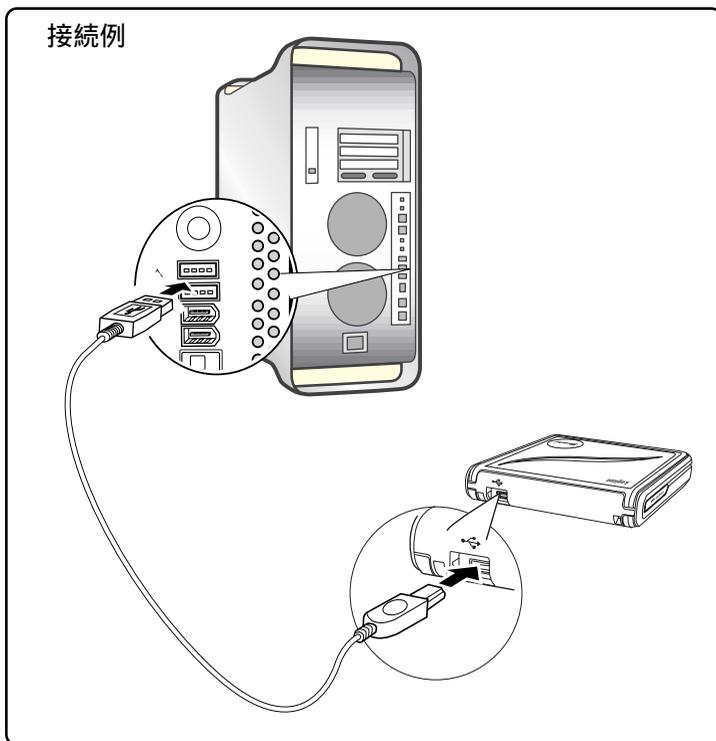
参考

スタンドの底面にイジェクトツールを装着することができます。

接続について

接続方法

付属の USB ケーブルを使用し、本製品背面にある USB mini-B コネクタとパソコンの USB シリーズ A ポートを接続してください。(下図参照)



ご注意

- ・ USB 延長ケーブルはバスパワーの電源供給を低下させる場合がありますので使用しないでください。
- ・ 本製品は、USB ポートからのバスパワーを電源として動きます。そのためパソコンの USB ポートから十分な電源供給を得られない場合は、セルフパワーの USB ハブを使用する必要がある場合があります。
- ・ USB はホットプラグをサポートしているため、本製品の接続はパソコンの電源が ON の状態でも OFF の状態でもかまいません。

接続結果の確認

本製品の接続が終わったら、本製品にMOメディアをセットしてください。デスクトップ上に以下のようなアイコンがマウントされたら本製品は正しく認識されています。



Mac OS X の場合



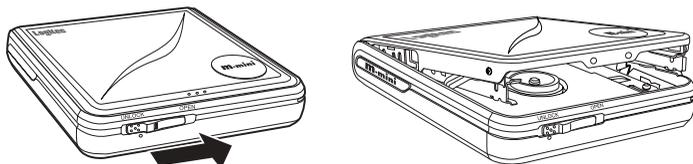
Mac OS 9 ~ 9.2.2 までの場合

未フォーマットメディアやOS側で認識できないフォーマットのメディアをセットした場合は、上のアイコンが表示されず、警告のメッセージが表示されます。その場合は、「フォーマットについて」を参照してMOメディアのフォーマットを行ってください。

メディアのセットと取り出し

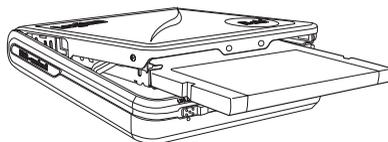
メディアのセット方法

イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドしてトップカバーを開けてください。



イジェクトレバーが動作しない場合、パソコンに接続し、本製品に電源を供給してからご使用ください。

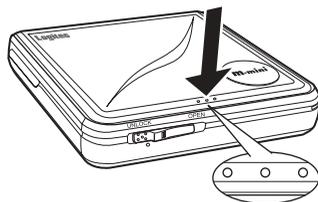
メディア挿入口から、MOメディアを挿入し、奥まで押し込んでください。奥のストッパーにあたるとMOメディアが固定されます。



固定された状態から、無理にMOメディアを取り出さないでください。故障の原因となります。取り出しは、一度トップカバーを閉じてから、次の「メディアの取り出し方法」の手順を参照して行ってください。

トップカバーのマーク部（ ）を押して、トップカバーを閉めます。

指などはさみこまないよう、十分ご注意ください。



アクセスランプが数秒点滅します。（点滅中は、まだ使用できません）ランプが点滅から点灯状態に変わったら、使用可能となります。

メディアの取り出し方法

メディアの取り出しを行う場合は、以下に記す注意事項をお守りの上、正しい手順で取り出してください。

注意事項

- ・ OS 側で取り出し操作を行わずに本製品をパソコンから取り外すと、トップカバーがロックされた状態になり、カバーが開かなくなります。その場合、無理にカバーを開こうとしないでください。パソコンに再接続して取り出し操作を行えば、OS 側のロックは解除されます。
- ・ アクセスランプ点滅中は取出ししないでください。
- ・ メディア内のファイルが開いている場合は、必ずそのファイルを閉じてから取り出しを行ってください。
- ・ アクセスランプがゆっくりと点滅しているときは、イジェクトレバーを OPEN 側（右側）にスライドするだけで、トップカバーが開きます。
- ・ ドライブ側で認識できないタイプの MO メディア（たとえば 2.3GB の MO メディアなど）をセットした場合、OS 側での取り出し操作はできません。イジェクトレバーによる取り出しを行ってください。

取り出し手順

Mac OS 上で MO メディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされた MO メディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。



Mac OS X の場合



Mac OS 9 ~ 9.2.2 までの場合



ゴミ箱

アクセスランプが、点灯からゆっくりとした点滅に変わると、MOメディアが取り出し可能となります。

イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドして、トップカバーを開くと、MOメディアが排出されます。



イジェクトレバーによる取り出し

ドライブ側で認識できないタイプのMOメディア（たとえば2.3GBのMOメディアなど）をセットした場合は、以下の方法で取出しを行ってください。



ご注意

ライトキャッシュ機能により、パソコン側では書き込みが終了しているように見えても、ドライブ側ではMOメディアへ書き込みを行っている場合があります。大切なデータの破損を防止するため、ドライブ側で認識されているMOメディアの取り出しは、この方法では行わないでください。

イジェクトレバーをUNLOCK側（左側）にスライドしてください。



アクセスランプが、点灯からゆっくりとした点滅に変わります。

イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドして、トップカバーを開くと、MOメディアが排出されます。



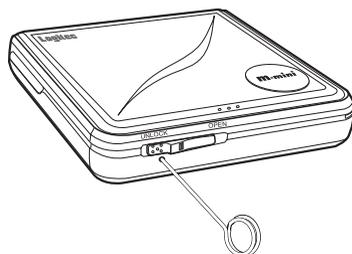
イジェクトツールを使用した取り外し

何らかの理由でMOメディアの取り出しができなくなったときは、次の手順でMOメディアの取り出しを行ってください。

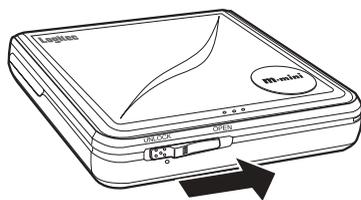
正しい手順で、本製品の取り外し操作（アンプラグ）を行った後、本製品からUSBケーブルを抜いてください。

取り外し操作については、この後の「本製品の取り外す手順」をご参照ください。

リリースホールにイジェクトピンを差し込み、軽く突き当たるまで押してください。（トップカバーのロックが外れます）



イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドして、トップカバーを開くと、MOメディアが排出されます。



ご注意

- ・ イジェクトピンによる取出しを行った後に、トップカバーが閉じられなくなった場合は、イジェクトピンをリリースホールに差し込み、軽く突き当たるまで押してください。
- ・ この手順でトップカバーのロックが外れない場合は、イジェクトピンでリリースホールを押したまま、イジェクトレバーをOPEN側（右側）にスライドしてください。

Mac OS X 環境の場合

Mac OS X環境の場合、OS標準のフォーマットソフト「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」をご使用ください。

ディスクユーティリティ (Disk Utility) の起動方法

- ・ Mac OS X 10.1.5 までの場合、メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。
- ・ Mac OS X 10.2 以降の場合は、メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

使用方法については「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」のヘルプをご参照ください。

Mac OS 9 ~ 9.2.2 環境の場合

Mac OS 9 ~ 9.2.2 環境の場合、以下の方法でフォーマットを行います。

フォーマット手順

コンピュータの電源が ON の状態で本製品と Macintosh マシンを接続して、本製品に MO メディアをセットします。

デスクトップに右のような MO メディアのアイコンがマウントされます。



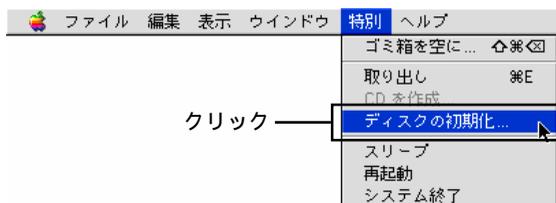
名称未設定

未フォーマットメディアや OS 側で認識できないフォーマットのメディアをセットした場合は、このアイコンは表示されません。手順へお進みください。

MO メディアのアイコンをクリックして選択状態にしてください。

Finder メニューの「特別」をクリックし、「ディスクの初期化」をクリックしてください。

「装置の初期化」と表示される場合もあります。



以下のダイアログボックスが表示されるので、「名前」の欄に MO メディアの名称を入力し、「フォーマット」の欄でフォーマット形式を選択して、「初期化」ボタンをクリックしてください。



フォーマット形式については次ページのポイントをご参照ください。

Point

ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

従来の Macintosh シリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GB などの大容量の MO メディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1 からサポートされた形式です。大容量の MO メディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0 以前のシステムではアクセスできなくなります。

Mac OS X とのデータ交換を行う場合はこちらでフォーマットしてください。

DOS 形式を選択して初期化したい場合は Windows 環境にてフォーマットしてください。

フォーマット形式で、**DOS 形式**フォーマットのみ選択可能な場合も、Windows 環境にてフォーマットを行ってください。

アクセスランプの仕様について

アクセスランプは、メディアの読み込み時点滅（早く）します。

また、以下の状態の時にはゆっくりとした点滅となります。

- ・ UNLOCK 時
- ・ OS 側でのメディアの取り出し操作後

これらの状態の時にはセットされたメディアへの書き込み・読み出しは行えません。

メディアへの書き込み・読み出しは、メディアをセット後にアクセスランプが点灯したのを確認してから行ってください。

本製品を取り外す手順

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

本製品を接続したが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがどうか確認してください。本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB ポートに直接接続して試してみてください。

パソコン側の USB バスパワー電源供給性能に問題があることも考えられます。パソコンとの間にセルフパワーの USB ハブ（独自に電源を得る形の USB ハブ）を介してその USB ハブに接続して動作するかお試しください。

USB 延長ケーブルを使用していませんか？ USB 延長ケーブルを使用すると不要な電圧降下を招き正しく動作しない場合があります。

MO メディアのアクセス時にエラーが発生する。

MO メディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。

MO メディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生する MO メディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

特定の MO メディアをアクセスできない。

その MO メディアはフォーマットされていますか？ 一般に MO メディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。「フォーマットについて」を参照して本製品のフォーマットを行ってください。

MO メディアでは、未フォーマットのメディアやアップルコンピュータ社の Macintosh シリーズでは認識できないフォーマット形式のメディアもあります。Windows 環境と Macintosh 環境等、異なるシステムとデータ交換を行う場合には、FAT フォーマットの MO メディアを使用してください。（Macintosh シリーズで FAT フォーマットの MO メディアを使用するには、MacOS 標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）

その MO メディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能な MO メディアについては、「使用可能なメディア」をご参照ください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

MOメディアがイジェクトできない。

電源がONの状態ではシステムが起動している Macintosh マシンに本製品を接続し、MOメディアをイジェクトしてください。

メディアへアクセス中はイジェクトできませんので、アクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。上記の項目に当てはまらない場合、一度本製品を再接続して試してください。それでもだめな場合は、本製品を取り外して、付属のイジェクトツールをリリースホールに挿し込み、強く押してください。



ご注意

本製品の電源がONの状態では、イジェクトツールは使用しないでください。

データの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

スリープ状態から復帰できない。

本製品はスリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードはサポートしていません。スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

セットしたMOメディアが認識されない

本製品を接続したままコンピュータを起動または再起動しませんでしたか？そのような場合は、以下のことをお試しください。

- ・ いったん本製品をコンピュータから取り外し、しばらくしてから再度接続してみてください。
- ・ いったんMOメディアを取り出してから、コンピュータの起動または再起動を行ってください。

イジェクトレバーを「OPEN」にしてもカバーが開かない

MOメディアをセットしたままの状態、システムを終了したり、本製品を取り外した場合、カバーがロックされたままの状態になります。Macintoshマシンの電源をがONでシステムが起動している状態で本製品を接続し、MOメディアをイジェクトしてください。

Mac OS 9 ~ 9.2.2の環境でMOメディアを初期化できない

AppleTalkが「使用」に設定され、ファイル共有が開始されている場合は、初期化を行う事ができません。このような場合は、いったんAppleTalkを不使用に設定するか、ファイル共有を中止にしてからフォーマットを行ってください。

AppletalkはAppleメニューから「セレクト」を選択し、セレクトウィンドウで使用と不使用を設定できます。

ファイル共有は、Appleメニューから「コントロールパネル」-「ファイル共有」と選択し、ファイル共有ウィンドウで設定ができます。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で

MOメディアを使用できない

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

ハードウェア仕様

機種名		LMO - PBS1345U2	LMO - PBS645U2
メディアタイプ		3.5型 MOメディア *1	
ディスクあたりの記憶容量		128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB
ディスク回転数		4500 rpm *2	4500 rpm
インターフェース		USB 2.0 / 1.1	
コネクタ形状		USB Mini - B	
最大データ転送速度 *3		480Mbps (High - Speed対応時) 12Mbps (Full - Speed 対応時)	
平均シークタイム		230ms	
キャッシュメモリ		8MB	
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	-10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧		DC + 5V *5	
消費電力 (定格)		2.5 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		103.3 × 19.8 × 117.5 mm *6	
質量		230 g *7	

*1 対応メディアについては「使用可能なメディア」節参照

*2 1.3GB MO メディア使用時は 3000rpm

*3 理論値

*4 ただし結露なきこと

*5 USB ポートより供給

*6 横置き時、突起部を除く

*7 本体のみ

オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitech-direct.jp>

USB 2.0インターフェースボード、インターフェースカード

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は、以下のインターフェースボード（PCIバス用インターフェースボードもしくはCardBus対応インターフェースカード）をご使用ください。

PCIバス用USB 2.0インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2NH	PCI	インターフェースボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8以降対応

CardBus対応USB 2.0インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HA	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応